

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 石巻市 (都道府県: 宮城県)
 本事業の担当部局名 復興企画部地域振興課

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業			
区分		一般メニュー			
関連事業メニュー		3.1.7 その他、各地域において結婚、妊娠・出産、子育てに温かい機運を醸成する取組			
個別事業名		石巻市子育て参加促進事業「ライフデザインセミナー事業」	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	平成27 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1		2,144,004 円			
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 本市では、出生率低迷の打開を目指し、「第2次石巻市総合計画実施計画」の第3章第1節「安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実」の中の具体的な施策として、「妊娠から出産、子育て期における切れ目のない支援」や「子どもを産み育てやすい環境づくりの推進」等を掲げ、各種計画と連動した取り組みを実施している。 しかし現状は出生率が目標値に届いておらず、今後も継続して妊娠から子育てに対する支援や、子育てに温かい環境づくりの推進に取り組む必要がある。 <本個別事業の位置付け> 本個別事業は、思春期の中学生に対して命の尊さと子育てに対する理解を深める講義・体験を行うとともに、協力をいただく親子に対しても社会とのつながりの場を提供することで子育てに温かい社会づくり・機運醸成を行い、子育てに温かい環境を整備することで少子化対策に資する取組を行うものである。				
	(本個別事業における現状と課題) 過去に実施した事業では、妊娠・出産・子育てについては多くの生徒が関心を持ち、講義や体験を通して知識を深めることができていた。 しかし、自身のライフプランについてはなかなか実感がわかない様子であり、まだ先のことから考えられないという意見が多く見られた。				
	(課題への対応) 妊娠・出産・子育てを含めたライフプランについては身近なものであり、今後の人生設計について考えておくことが大切だと実感できるよう、講義内容について検討していく。				
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	講義・体験・乳幼児とのふれあいの実施	○事業前アンケート 子育て等に関してどの程度興味関心があるかをアンケートにより確認し、各学校の生徒に合わせた内容の講義を実施する。 ○講義 (1)思春期の体の変化～生殖～命の誕生～子育ての一連を学ぶことで、自らの体に対する認識を強めると同時に、命の尊さ、特に自分の命の尊さに気づくことで自己肯定感の強化を図る。 また、中学校以降のライフデザインについてイメージさせるため、人生で起こる様々な選択の場面を例示し、自分の人生は自分で決めていくという意識の醸成を図る。 (2)親や友人、異性に対する思春期の心の動きを学び、健全な心の育成の一助とすると同時に、性をはじめ多様な人間のあり方への理解促進を図る。 ○体験 (1)妊婦ジャケット着用体験 妊婦の日常生活を送る上での大変さを身をもって体験し、妊婦や家族への思いやりの心を育む。 (2)赤ちゃん人形抱っこ体験 赤ちゃん人形を使い、赤ちゃんの重さや抱き方の基本を学ぶ。 ○乳幼児とのふれあい 実際の乳幼児と触れ合い、抱っこをして乳幼児の反応を受けることで、育児の難しさを学ぶとともに、親子のコミュニケーションを目の前で見ることで、家族の役割を再認識し、子育てに対する理解を深める。 ○事業後アンケート 講義及び体験により、子育て等に関する意識がどのように変化したかを確認する。 対象：市内中学校15校 1,051名	○	○
【次年度以降に向けた事業の方向性】 本事業における親子の役割や、ふれあい体験に参加する意義を親自身に認識してもらうため、中学生に行う事業を親子が傍聴できる機会を設ける予定である。 これにより、参加する親が社会貢献をしているという実感を得ることや、自己肯定感を向上させることを目指す。 また、助産師と参加する親が交流する機会を設け、子育てに関する相談と助言を継続的にを行い、育児に悩む親の孤立を防ぐ。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 特になし					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	合計特殊出生率	%	1.52(令和7年)	1.20(令和3年)
女性人口(15~49歳)	人	21,696(令和7年度)	23,542(令和3年度)	
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率		1.20(令和3年)	
	婚姻件数	件	376(令和3年)	
	婚姻率		2.70(令和3年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	参加目標人数	人	1000	1000(R5.1.1時点)
	募集定員数に対する参加者数の割合	%	100	65.4(R5.1.1時点)
	子育てに対する理解が高まった生徒の割合	%	80	96.9(R5.1.1時点)
	人生設計(ライフプラン)について考えるきっかけとなった参加者の割合	%	80	84(R5.1.1時点)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	他自治体との連携無し			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<p>(1)一般社団法人 宮城県助産師会 妊娠・出産等に関する豊富な知識や、様々な形態の家族に接するといった豊富な経験を活用し、医学的知見からの性、生殖及び他者尊重や人権教育をテーマとした講義を行うことで、思春期の生徒達に将来を思い描く上での適切な情報を与える。 また、講義の中で妊婦ジャケット着用体験や赤ちゃん人形の抱っこ体験を実施し、妊産婦への接し方や赤ちゃんの抱き方を教える。このことは、協力する乳幼児に対するリスク対策にもなる。 講義の内容は各学校の要望に合わせて重点を変えていく。</p> <p>(2)NPO法人ベビースマイル石巻 当該団体は関係活動の中でふれあい体験に参加する親子を募り、講義当日はふれあいサポートを行う。 育児中の親の協力を得て、親子が安心した環境で実際の乳幼児の姿を生徒達に示せるよう支援調整を行う。</p>			

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①~③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、②③は記載不要。
 - ①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け
 - ②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つかった課題(新規事業である場合は不要)
 - ③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。
 - ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
 - ※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
 - ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
 - ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。